

徳永 澄憲ゼミナール【経済-1クラス】

【**題目**】マクロ経済学・経済政策及び地域経済学・地域経済政策演習

【**到達目標**】本演習は、マクロ経済学・経済政策及び地域経済学・地域経済政策に興味をもつ学生に開かれている。専門課程に進んだ学生が、マクロ経済学・経済政策及び地域経済学・地域経済政策に関する自分の研究課題を見つけ、その研究課題を分析、実証、評価し、政策立案することを到達目標とする。

【**講義内容**】マクロ経済学・経済政策及び地域経済学・地域経済政策の課題として、以下のものがある。

- ・長期の経済成長と政府の政策
- ・景気循環と経済政策
- ・借金下の財政金融政策
- ・ルール対裁量政策
- ・歳入・歳出と財政赤字
- ・メガ FTA と企業のグローバル戦略
- ・長期的生活水準の決定要因と政府の政策
- ・IS-LM モデルと供給ショック
- ・90 年代以降の日本の経済政策
- ・不良債権問題とインフレ目標
- ・起業と新産業集積の育成
- ・経済倫理と経済政策

これらのテーマは想定される一部である。本ゼミナールに参加する学生諸君は、自らのテーマを自分で設定することができる。

【授業計画】

- 第 1 回 オリエンテーション
- 第 2 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 1 回
- 第 3 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 2 回
- 第 4 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 3 回
- 第 5 回 論文の書き方(1)
- 第 6 回 論文の書き方(2)
- 第 7 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 4 回
- 第 8 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 5 回
- 第 9 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 6 回
- 第 10 回 政策ディベート(1)
- 第 11 回 政策ディベート(2)
- 第 12 回 政策ディベート(3)
- 第 13 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 7 回
- 第 14 回 ゼミ生の卒論のプレゼンテーション第 8 回
- 第 15 回 1 学期の成果として論文をまとめると共に課題を検討

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的な好奇心	◎
本質を理解する力	◎
論理的に考える力	◎
多様性を理解する力	○
チームワークよく成し遂げる力	○
様々な人と対話する力	◎
他者の立場と痛みを感じる力	○
意志や情報を発信する力	◎
自ら行動する力	◎
自己を受け止める力	○
自己反省する力	○
自信を生み出す力	◎

【**教科書**】A.B エーベル/B.S.バーナンキ『エーベル/バーナンキ マクロ経済学(下):マクロ経済政策』2007 年

【**参考文献**】参考文献は特に指定しない。授業では、必要に応じて資料などを指示する。

【**評価方法**】授業における発表状況及びパフォーマンス

【**履修の条件**】なし

【**聴講生・科目等履修生受入**】否

【**他学科生・他専攻生受入**】可

【**他学部生受入**】否

【**当該科目に関連する開設科目**】マクロ経済学、応用計量経済学A・B、上級マクロ経済学A・B

【**使用言語**】日本語

【**担当者からの一言**】マクロ経済学及び地域経済学に興味を持つ学生諸君、共に研究しよう。